動物形態機能学実習

VT コース専門科目　1 年　前期・後期　45 時間　2 単位　実習　必修

講師　　藤田圭佑

実務経験のある授業科目	有
実務経験の内容	動物病院における動物看護・受付・診察補助業務
学科・クラス指定等	ベテリナリーテクニシャンコース１年
学習目標	動物の身体の形態と機能を骨格標本・模型・組織像から学ぶ。
学 ひ の キーワード	顕微鏡　骨格標本　内臓器　主要臓器の組織画像　組織解説映像
準備学習及び復習の内容・履修条件	各回のテーマに沿った教科書の該当部分を事前に通読しておくとともに、講義した内容の理解を深めるために、板書した講義内容のノートを必ず復習しておくこと。
授業方法	全ての実習は、付属動物病院である＜動物の病院＞で白衣着用のうえ行われる。必要に応じて資料を配付するが、メモ帳を携行して重要事項を書き留めておくこと。検査器具撮影の限りにおいて、携帯電話の携行を許可する。原則として、学期末試験を 1 回実施して学習深度の向上を図る。
成績評価基 準	試験において、学びのキーワードを理解していること。実習への出席 30%、期末試験 70%で評価する。授業内容は、スケジュールの都合により入れ替わる場合もある。
備 考	動物看護の教科書　２巻　参照
授業回数	
1～3 回	イヌの身体の構造　全身骨格　身体の面　体腔と膜
4～6 回	イヌの身体の構造　前肢　頭部　眼球
7～9 回	イヌの身体の構造　鼻腔　耳　口腔
10～12 回	イヌの身体の構造　腹部　小腸　大腸
13～15 回	イヌの身体の構造　胸腔　肺　心臓
16～18 回	イヌの身体の構造　泌尿器　腎臓　膀胱
19～21 回	イヌの身体の構造　リンパ節　動脈　静脈
22～24 回	イヌの身体の構造　神経　脳
25～27 回	動物種による身体構造の違い　猫　ウサギ（前半身）
28～30 回	動物種による身体構造の違い　猫　ウサギ（後半身）
31～33 回	動物種による身体構造の違い　マウス　ウマ（前半身）
34～36 回	動物種による身体構造の違い　マウス　ウマ（後半身）
37～39 回	顕微鏡の使い方　（名称・倍率・条件）
40～42 回	顕微鏡の使い方　（操作方法）
43～45 回	顕微鏡の使い方　（操作方法・メンテナンス）